

平成24事業年度

決算報告書

自：平成24年4月 1日

至：平成25年3月31日

国立大学法人長崎大学

平成24年度 決算報告書

国立大学法人長崎大学

(単位:百万円)

区分	予算額	決算額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	16,576	15,616	-960	(注1)
うち補正予算による追加	-	-	-	
施設整備費補助金	2,985	1,712	-1,273	(注2)
うち補正予算による追加	-	-	-	
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	1,052	1,535	483	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	63	76	13	(注4)
自己収入	27,783	28,971	1,188	
授業料、入学料及び検定料収入	5,432	4,974	-458	(注5)
附属病院収入	21,972	23,566	1,594	(注6)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	379	431	52	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,391	3,159	768	(注8)
引当金取崩	-	474	474	(注9)
長期借入金収入	565	455	-110	(注10)
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	410	288	-122	(注11)
出資金	-	-	-	
計	51,825	52,286	461	
支出				
業務費	42,404	40,915	-1,489	(注12)
教育研究経費	22,779	20,030	-2,749	
うち設備災害復旧事業	-	-	-	
診療経費	19,625	20,885	1,260	
うち設備災害復旧事業	-	-	-	
施設整備費	3,614	2,244	-1,370	(注13)
うち施設災害復旧事業	-	-	-	
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	1,052	1,535	483	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,391	2,742	351	(注15)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	2,364	2,354	-10	(注16)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	51,825	49,790	-2,035	
収入-支出	-	2,496	2,496	

○予算と決算の差異について

(注1)運営費交付金については、給与改定臨時特例法に基づく国家公務員の給与削減と同等の給与削減相当額の減額により、予算金額に比して決算金額が960百万円少額となっております。

(注2)施設整備費補助金については、長崎大学(文教町(附小))校舎改修等にかかる事業費の一部が工期の延長により翌年度に繰越となったため、予算金額に比して決算金額が1,273百万円少額となっております。

(注3)補助金等収入については、予算段階で予定していなかった大学改革推進等補助金等の収入増があったため、予算金額に比して決算金額が483百万円多額となっております。

(注4)国立大学財務・経営センター施設費交付金については、臨時要求が認められたことにより、予算金額に比して決算金額が13百万円多額となっております。

(注5)授業料、入学料及び検定料収入については、授業料免除枠の拡大及び予算段階との人数の差異等により、予算金額に比して決算金額が458百万円少額となっております。

(注6)附属病院収入については、手術件数の増、診療報酬改定による増及び外来化学療法件数の増等により、予算金額に比して決算金額が1,594百万円多額となっております。

(注7)雑収入については、船舶保険金(機材損失に伴う保険金)による収入があったこと等により、予算金額に比して決算金額が52百万円多額となっております。

(注8)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究及び受託事業を多額に受け入れたこと等により、予算金額に比して決算金額が768百万円多額となっております。

(注9)引当金取崩については、賞与引当金等を予算段階では見込んでいなかったため、予算金額に比して決算金額が474百万円多額となっております。

(注10)長期借入金収入については、長崎大学(医病)中央診療棟工事の事業計画変更により、借入額が減少したため、予算金額に比して決算金額が110百万円少額となっております。

(注11)目的積立金取崩については、バイオメディカル・リサーチセンター増改築にかかる設備整備事業の事業計画の変更や効率的な事業実施を行ったこと等により、予算金額に比して決算金額が122百万円少額となっております。

(注12)業務費については、学内プロジェクト事業における業務達成基準の適用や特殊要因経費(退職手当)の翌期への繰越及び効率的な事業実施を行ったこと等により、予算金額に比して決算金額が1,489百万円少額となっております。

(注13)施設整備費については、(注2)及び(注10)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1,370百万円少額となっております。

(注14)補助金等については、(注3)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が483百万円多額となっております。

(注15)産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注8)で示した理由等により、予算金額に比して決算金額が351百万円多額となっております。

(注16)長期借入金償還金については、(注10)で示した理由等により、支払利息が減少したことで予算金額に比して決算金額が10百万円少額となっております。